

出口修さんは美濃山新開の話をして下さいました。明治10年にはお茶の生産量が八幡の村内で一番になって、15年にはアメリカ等への輸出が行われました。その内お茶の中に石が混ざっていたりするようになったそうです。さて、浅井周斎(あさいしゅうさい、1720~1800、南山焼の創始)は1745年長崎に行って竹の苗を買って美濃山に持ち帰ったと言われていいます。竹栽培が始まり、採れた筍を売るのが上奈良から淀へ木津川を進み、淀で大きな船にのり淀川を大阪まで運んだそうです。そのうち缶詰の技術が取り入れられ筍栽培がより進んだそうです。筍の缶詰ですね。そして竹から桶、釣り竿(黒竹)、杖や籐(たが、右写真)、家具が作られました。



- ① 日時 2025年3月14日(金)13時30分~
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07

5-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net 作られた

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。